

木々の葉が色づき、季節の移り変わりを感じるこの頃。朝晩の冷え込みが増し、体調を崩しやすい季節になりました。感染症が心配される時期ですので、保育園でも手洗い・うがいを丁寧にしながら子ども達が元気に過ごせるように見守ってきたいと思います。

もしおなかの風邪を引いてしまったら・・・

下痢や嘔吐などが起こる『感染症胃腸炎』は、感染力が強く、家庭内感染を起こしやすいと言われています。感染性胃腸炎の原因となるウイルスは主にロタウイルスとノロウイルスがあります。ロタウイルス感染症は小さな子どもは重症化しやすいのですが、現在は予防接種が普及して、重いロタウイルス感染症は少なくなっています。その一方、ノロウイルスは免疫がつきにくいいため、毎年流行しますし、大人も重い症状がでます。



【症状】突然の嘔吐・下痢・腹痛・発熱など

嘔吐物や下痢のうんちには原因となるウイルスなどの病原体が大量に含まれています。汚れた下着(おむつ)や嘔吐物に直接触れないことが大事です。いざというときのために、ご家庭でも使い捨ての手袋やエプロンなどを用意しておくといいでしょう。また、アルコール消毒ではなく塩素系の消毒剤が有効です。

消毒対象	調整する濃度 (希釈倍率)	希釈法
・嘔吐物や排泄物が付着した床・物 ※衣類等に嘔吐物や排泄物が付着した場合はこちらの濃度で使用	0.1% (1000ppm)	水1Lに対して約20mL (めやすとしては、500mlペットボトルにキャップ2杯弱)
・衣類等のつけ置き ・食器等のつけ置き ・トイレの便座、ドアノブ、手すり、床等	0.02% (200ppm)	水1Lに対して約4mL (めやすとしては、500mlペットボトルにキャップ0.5杯弱)

保育園での嘔吐下痢時の対応について

子ども家庭庁から出ている『保育所における感染症ガイドライン』に沿い、嘔吐物や下痢便で汚れた衣類は、保育園で洗うと、洗った場所がウイルスに汚染されることから、二次感染を防ぐため、**汚れた衣類品はそのま**

【登園の基準】下痢や嘔吐の症状が治まり、普段の食事が摂れることとなっています。

※登園前に下記の症状がある場合は登園を控えるのが望ましいです。

- ・24時間以内に複数回の嘔吐がある、嘔吐と同時に体温がいつもより高い、食欲がなく水分も欲しがらないとき。
- ・24時間以内に複数回の水様便がある、食事や水分を摂るとその刺激で下痢をする、下痢と同時に体温がいつもより高い、朝に排尿がない、機嫌が悪く元気がないなどの症状のとき。
- ・顔色が悪くぐったりしているなどの症状がみられるとき。

だんごちゃん ありがとう

園で大切に飼っていたうさぎのだんごちゃんが、静かに息を引き取りました。子ども達にとって、だんごちゃんは日々の癒しの存在であり、園庭に出るたびにだんごちゃんのお家の中を覗き込む姿が見られていました。

特にそら組は当番活動で毎日お世話を続け、エサをあげたり、お掃除をしたり、体をなでてあげたりと大切に思う気持ちを育んできました。突然のお別れに涙がこぼれたり、どうして死んでしまったのか考えたり、悲しさや寂しさを感じたりする子もいました。そら組中心にだんごちゃんのお墓づくりを行い、『ありがとう』という言葉とお花を供えて見送りました。子どもたちなりに大切にしてきた命とのお別れを受け止めてる姿がありましたので、ご家庭でもお子さんがだんごちゃん的话题を持ち出した際には、気持ちに寄り添ってお話を聞いていただければ幸いです。

